



## 土石流は、どうして起きるの

### 土石流は、山つなみともよばれている

谷底や谷のかべに積もっていた、たくさんの岩くずや土砂などが水をふくんで、いっきに谷を流れ下る現象を、土石流といいます。岩くずや土砂などが、つなみのようにおしよせてくることから、古くは、山つなみとよんでいました。

### 大半は集中豪雨のときに起きる

集中豪雨によって、谷に積もっていた岩くずや土砂がくずれ、水と一っしょにおし流されたり、くずれた岩くずが流れをせき止めたりします。そのあと、さらに、せき止められたものもくずされて、いっしょにおし流されます。ふつう、土石流は、このようにして起きます。

### 大きな災害を引き起こす

土石流は1秒間に、数メートルから数十メートルの速さで流れるので、大変強い力のはたらきます。1回の土石流でおし流される土砂の量は、数万立方メートルから、数十万立方メートルになることがあります。

日本では山間部まで人が住み、観光開発が進んでいることもあって、ときどき、大きな災害が起きています。全国で土石流が起こりそうな所は、7万か所くらいあるとみられています。しかし、予測することは、大変むずかしいのです。(監修・村山 貢司)

